

公益社団法人埼玉中央青年会議所
2025 年度理事長立候補者推薦文

推薦者氏名 関口 亜耶

明るく豊かな社会の実現に向け、埼玉中央 JC では、本年「ビジョン 2025」策定に向け議論を重ねており、2025 年は新たなビジョンの下でスタートを切ります。来年 30 周年を迎える埼玉中央 JC の理事長には、圧倒的な当事者意識を持ち、地域の課題解決に向けリーダーシップを発揮できる人材こそが相応しいと考えます。誰よりもこの地域を愛し、本気で地域課題の解決に取り組んでいる高子君を、2025 年度の理事長に推薦します。

私が、初めて高子君と共に理事として活動したのは、2022 年でした。当時の理事会で、高子君が述べる鋭い意見、その背景にある多くの知識と深い洞察力に、とても刺激を受けました。特に 2022 年の氷川神社の和傘事業においては、高子君は、担当常任理事として、委員長と企画段階から二人三脚で議案構築しており、その姿が印象に残っています。その翌年、2023 年に高子君が、議案審査会議の副議長を務めていた際には、議案構築に悩んでいる委員会に寄り添い、指導する姿に感銘を受けました。高子君の魅力を感じ共に過ごす時間が増え、徐々にその人となりを知りました。そして、誰にも負けない地域課題解決への情熱を抱いていることを知りました。そして今年度は、拡大アカデミー特別委員会の副理事長を務めるとともに、日本 JC の国際アカデミー委員会に副委員長として出向し、苦手としていた国際の分野においても一目置かれる存在になっています。

理事長という職は、内外から注目されプレッシャーと重責がのしかかります。しかし、高子君は 2015 年に入会して以来多くの経験を積み重ねてきただけでなく、役職が与えられるとその責任を全うし、持ち前の能力を更に伸ばしてきました。高子君が理事長になれば、必ずこれからの埼玉中央 JC をさらに発展させ、期待を超える成果をもたらしてくれると信じています。

最後に、埼玉中央 JC は新たなメンバーが加わり、若返りの最中にあります。これからも私たちが地域に対して運動を起こしていくためには、私たち一人ひとりが成長していく必要があります。高子君の掲げる「Beyond Expectation～未来への挑戦～」の基本理念のもと、私たち一人ひとりが挑戦していくことで、未来に向けて輝かしい歩みを進めていきましょう。